

efit+ for TCU Ver.1.3.1.0 アップデート概要

2011年4月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for TCU Ver.1.3.1.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for TCU Ver.1.3.1.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+T 測量基本ソフト	B-E1-T00	基本キットに含まれます	Trimble VISION対応、登録文字追加など
efit+T 測量観測	B-E1-T50	基本キットに含まれます	平面送信の観測方法別の送信追加など
efit+T 測量計算	B-E1-T51		
efit+T 線形計算	B-E1-T52		
efit+T 縦横断観測	B-E1-T53		横断側線機能の追加
efit+T 平板観測	B-E1-T54		観測領域チェック機能の追加など
efit+T GPS観測	B-E1-T55		RRS時の不具合修復など
efit+T オートフォーカスOP	B-E1-T56		

■ Trimble VISION への対応

Trimble S8 Trimble VISION 搭載機

◆本バージョンより Trimble S8 の Trimble VISION 搭載機でビデオカメラが、使用可能となりました。

◆以下の機器でビデオカメラが使用できます。

Trimble S8 Trimble VISION

◆Trimble VISION 搭載機に接続されていると UTL の TS 機器設定メニューから「トラックライト設定」が省かれます。

●Trimble VISION 搭載機



●Trimble VISION 非搭載機



◆Trimble VISION 搭載機に接続されていると機能メニューの「トラックライト」ボタンが「ビデオ」ボタンに切り替わります。ビデオカメラは、本体のトラックライト部に搭載されています。(Trimble VISION 搭載機にはトラックライトは非搭載です)

●Trimble VISION 搭載機

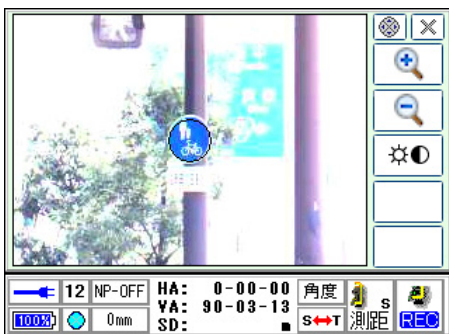


●Trimble VISION 非搭載機



◆機能メニューの「ビデオ」ボタンを押すとビデオ画面を表示します。

●ビデオ画面



- ⇒映像中心に視準マークを表示します。
視準マークはカメラの中心を表すもので視準望遠鏡の中心を表すものではありません。
- ⇒映像画面をタップすることによりタップした方向へ本機が旋回します。
- ⇒本画面でキーボードの矢印ボタンを押して本機を旋回することが可能です。(ボタンを押し続けると旋回動作を継続します)
(旋回スピードは、機能メニューのコントロールの設定に従います)

●ビデオ画面でキーボードのテンキーを押して本機を絶対角度へ旋回することができます。

テンキー	本機の動作
[7][8][9]	[7]:315度へ旋回 [8]:0度へ旋回 [9]:45度へ旋回
[4][5][6]	[4]:270度へ旋回 [5]:現在位置から90度単位で旋回 [6]:90度へ旋回
[1][2][3]	[1]:225度へ旋回 [2]:180度へ旋回 [3]:135度へ旋回

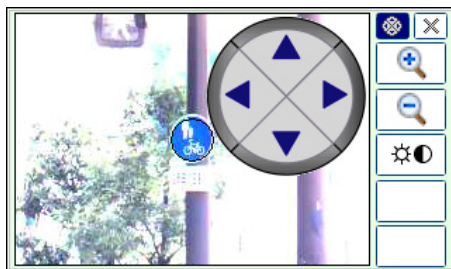
●ボタン説明



: ビデオ画面を閉じます。



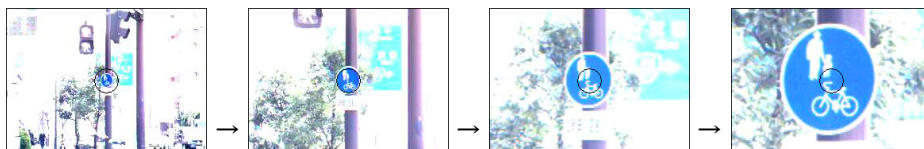
: 旋回コントロールボタンを表示します。



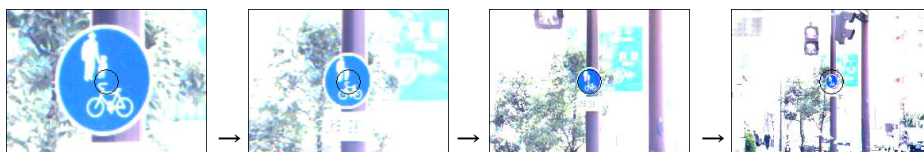
ボタンを押し続けることにより本機を連続して旋回動作を行います。



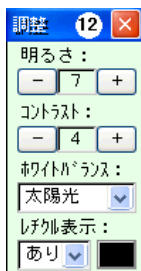
: ビデオ映像を4段階でズームアップします。



: ビデオ映像を4段階でズームダウンします。



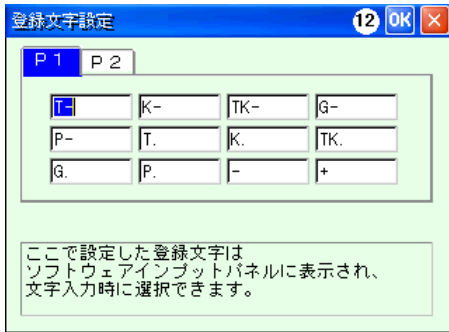
: ビデオ映像の明るさやコントラストの調整などを行います。



- 明るさ :9段階でカメラの明るさが調整できます。
- コントラスト :9段階でカメラのコントラストが調整できます。
- ホワイトバランス :ホワイトバランスを設定できます。
(太陽光、電球、蛍光灯から選択します。)
- レチクル表示 :カメラ中心円の表示有無とカラーを設定できます。

■ 登録文字の追加

- ◆UTL→環境設定内の登録文字設定のページを1ページ(12個の登録文字)追加しました。



■ ソフトウェアインプットパネル(入力パネル)の全面改定

- ◆登録文字、英字、カナ文字のソフトウェアインプットパネルをコンパクトに改定しました。

[登録文字]						[英字]						[カナ文字]							
+	T-	K-	TK-	G-	-	+	a	b	c	d	e	-	+	ア	イ	ウ	エ	オ	-
123	P-	T.	K.	TK.	←	↓	f	g	h	i	j	←	↑	カ	キ	ク	ケ	コ	←
登録 P2	G.	P.	-	+	-	cap	k	l	m	n	o	-	↓	サ	シ	ス	セ	ソ	-

- パネルの左上にパネル移動ボタンを配置しました。
- パネルの右上にパネルの閉じるボタンを配置しました。
- 全パネルに1文字消ボタンを配置しました。
- 全パネルにマイナス入力を配置しました。
- 登録文字パネルを1ページ追加しました。
- 登録文字パネルに数字パネルを追加しました。

- ◆登録文字パネル

+	T-	K-	TK-	G-	-	+					-	+	7	8	9	0	-
123	P-	T.	K.	TK.	←	123					←	登録 P1	4	5	6	.	←
登録 P2	G.	P.	-	+	-	登録 P1					-	登録 P2	1	2	3	↵	-

- ◆英字パネル

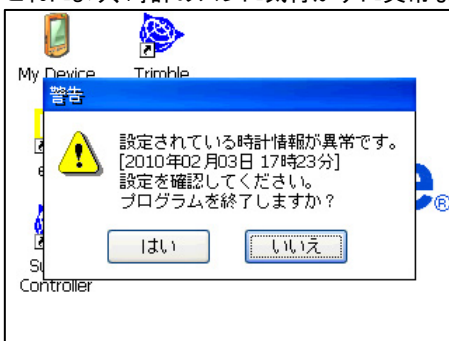
+	a	b	c	d	e	-	+	p	q	r	s	t	-	+	A	B	C	D	E	-	+	P	Q	R	S	T	-
↓	f	g	h	i	j	←	↓	u	v	w	x	y	←	↓	F	G	H	I	J	←	↓	U	V	W	X	Y	←
cap	k	l	m	n	o	-	cap	z	.	、	/	+	-	cap	K	L	M	N	O	-	cap	Z	.	、	*	+	-

- ◆カナ文字パネル

+	ア	イ	ウ	エ	オ	-	+	カ	キ	ク	ケ	コ	-	+	マ	ミ	ム	メ	モ	-	+	ワ	ヲ	ヅ	ヅ	ヅ	-
↑	カ	キ	ク	ケ	コ	←	↑	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	←	↑	ヤ	ユ	ヨ	、	、	←	↑	ア	イ	ウ	エ	オ	←
P1	サ	シ	ス	セ	ソ	-	P2	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	-	P3	ラ	リ	ル	レ	ロ	-	P4	ト	チ	ツ	テ	ト	←

■ プログラム起動時に時計チェックを追加

- ◆プログラム起動時に日時をチェックして2011年より前の時は警告メッセージを表示するようになりました。これにより、時計のズレに気付かずに異常な観測日時が登録される防ぐことができます。



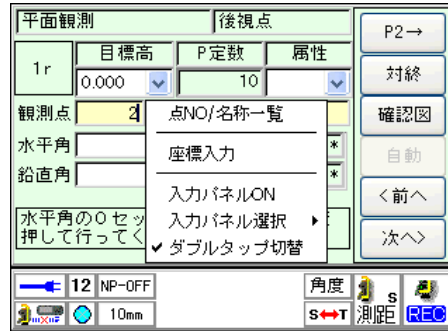
■ ポップアップメニューの改良

- ◆前バージョンまでは点 No/名称の入力 BOX(黄色の入力 BOX)のみ長くタップするとポップアップメニューを表示していましたが、今回のバージョンより、すべての入力 BOX に対しても長くタップするとポップアップメニューを表示するようになりました。

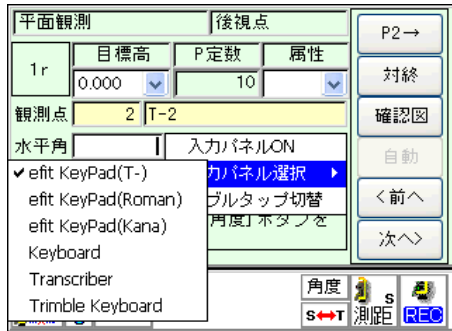
[点 No/名称入力以外]



[点 No/名称入力]



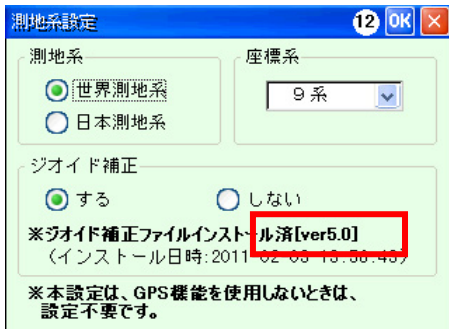
- ◆入力パネル ON
 - 入力パネルの表示、非表示を行います。
 - 「入力パネル ON」を選択すると入力パネルを表示します。
 - 「入力パネル OFF」を選択すると入力パネルを非表示にします。
- ◆入力パネル選択
 - 登録されている入力パネルの一覧をサブメニューとして表示しますので一覧から使用するパネルを選択します。



- ◆ダブルタップ切替
 - ON のときは、入力 BOX をダブルタップしたときに入力パネルの表示、非表示を繰り返します。

■ ジオイドファイルバージョン表示を追加

- ◆UTL→環境設定内の測地系設定画面のジオイド補正部分にインストールされているジオイドファイルのバージョン表示を追加しました。バージョンがファイル内に含まれていない場合は表示しません。

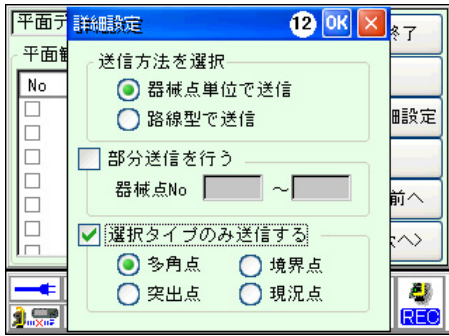


■ 平面観測の改良

- ◆器械点毎に登録している縮尺係数の初期値をパート間で引き継げるようになりました。

■ 平面データ送信の改良

- ◆平面観測で登録されたデータを観測タイプ毎に送信できるようになりました。詳細設定画面に「選択タイプのみ送信する」の設定を追加しました。



■ 測設の改良

- ◆測設中の測設情報確認画面に器械点と後視点の No/名称を追加しました。

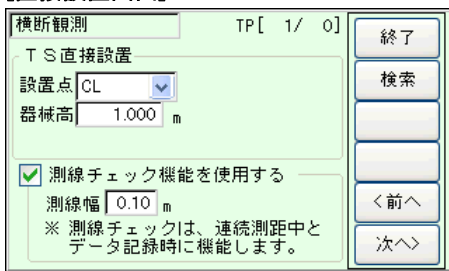


■ 横断観測の改良 縦横断観測オプション

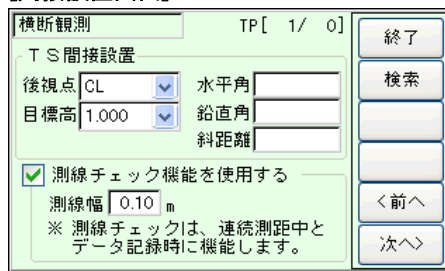
- ◆本バージョンより横断観測で測線チェック機能が使用可能となりました。測線チェック機能は、ターニングの度に設定を行う必要があります。

- ◆器械設置画面に測線チェック機能の使用有無の設定を追加しました。

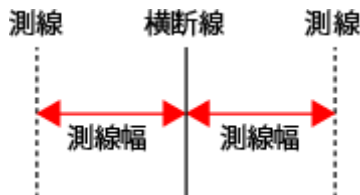
[直接設置画面]



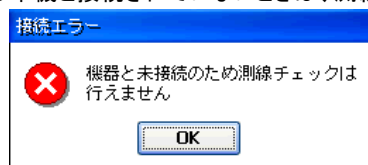
[間接設置画面]



- 測線チェック機能を使用する場合は、「測線チェックを使用する」にチェックを付け、測線幅を入力します。測線幅nは、横断線からの離れ量を入力します。

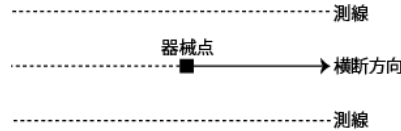
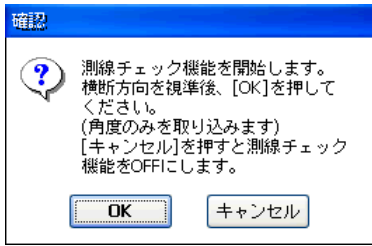


- 本機と接続されていないときは、測線チェックを使用することはできません。

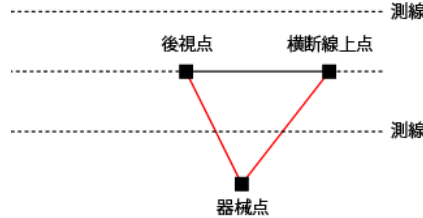
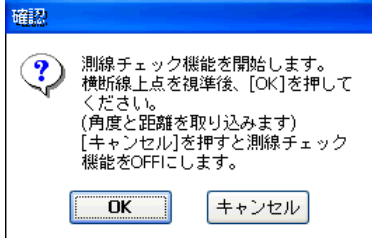


本機と接続されていないときに測線チェックをONにして[次へ]ボタンを押したときは、左のメッセージを表示します。

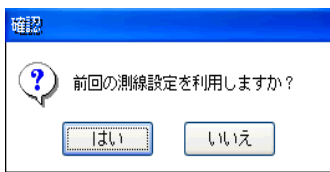
- 測線チェック機能をONのときに、「直接設置画面」で[次へ]ボタンが押されたときは、下の測線方向の視準を促すメッセージを表示しますので、測線方向を視準後[OK]ボタンを押します。



- 測線チェック機能をONのときに、「間接設置画面」で[次へ]ボタンが押されたときは、下の測線方向の視準を促すメッセージを表示しますので、測線方向を視準後[OK]ボタンを押します。



- ターニングを行った時、直前の設置方法が同一の場合は、下のメッセージを表示して直前の測線設定の使用有無を促します。

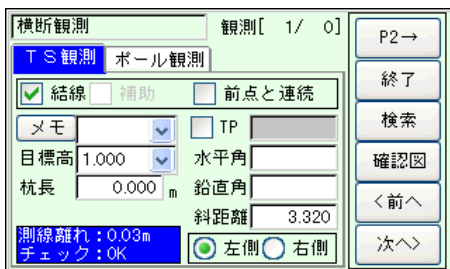


- ◆TS 観測画面に測線チェック機能を追加しました。測線のチェックは、新規の観測画面でのみ有効となります。測線チェックが有効なときは観測画面に「測線離れとチェック」を表示します。

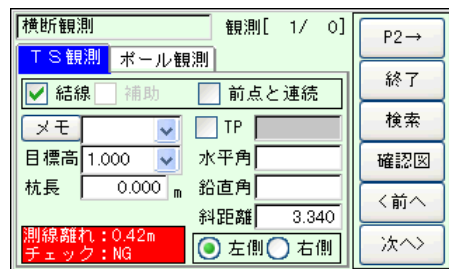


- [測距]ボタンを押して連続測距を行ったときに測線チェックを行い、チェック結果を表示します。

【チェック OK 時】

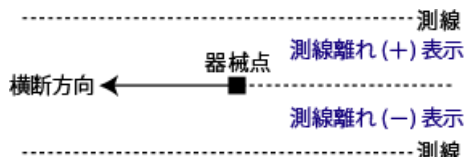
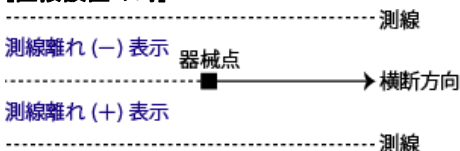


【チェック NG 時】

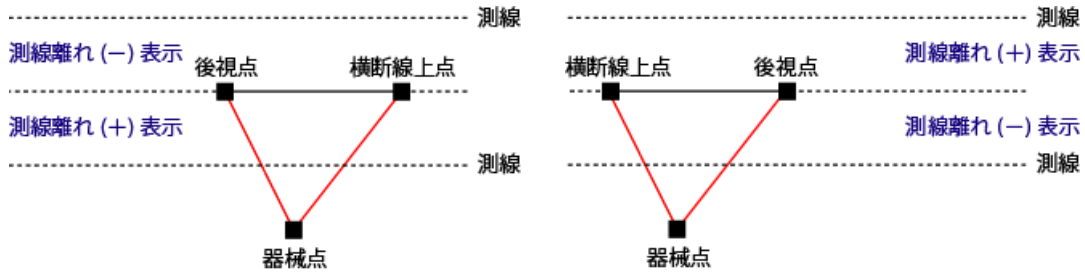


- チェック結果の「チェック:」は、測線離れの絶対値が、設定した測線幅以下のときは「OK」、測線幅を超えたときは「NG」を表示します。
- チェック結果の「測線離れ:」は、横断線からの離れ量を表示します。測線設定の設定方向により+/-の表記が変わります。

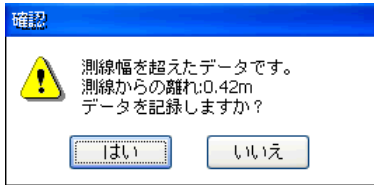
【直接設置の時】



[間接設置の時]



- [REC]ボタンを押してデータを取得した時やデータを手入力した場合は、データを記録する直前に、チェックを行い測線幅を超えていたときは、警告メッセージを表示します。



■ 平板観測の改良

平板観測オプション

- ◆ TS 観測の仕様を変更しました。

- 後視点観測時に距離の計測が行えるようになりました。

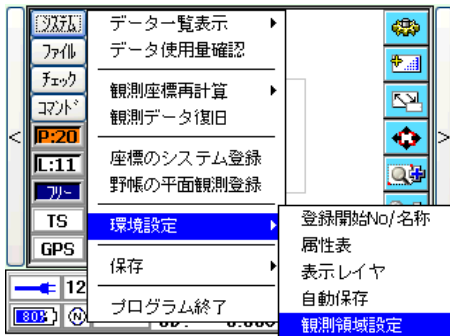


- 視準点の観測時、操作ミスを防ぐため器械高の入力が行えないようになりました。

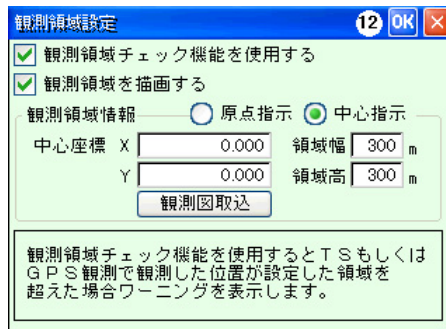
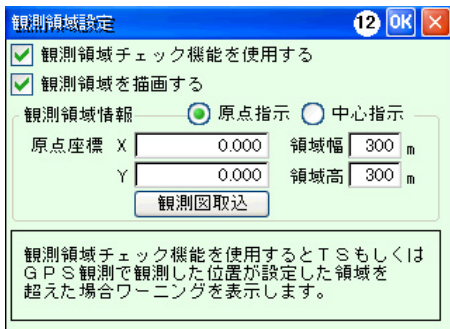


- ◆ 観測領域のチェック機能を追加しました。

- システムメニューの環境設定内に観測領域設定を追加しました。

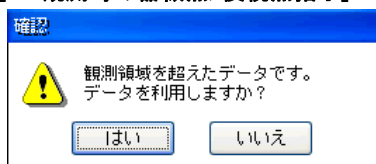


- 観測領域設定画面を追加しました。

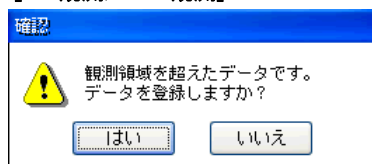


- ・「観測領域チェック機能を使用する」を ON にすると TS 観測時や GPS 観測時に観測領域情報からはみ出すと警告メッセージを表示します。

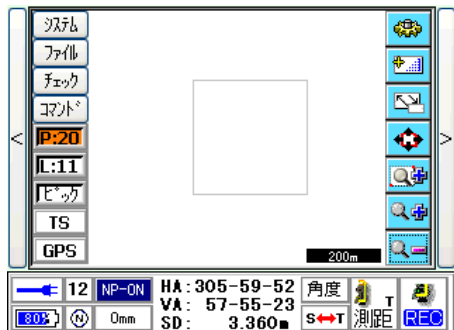
[TS 観測時の器械点/後視点指示]



[TS 観測/GPS 観測]



- ・「観測領域を描画する」を ON にすると観測領域を編集図領域に描画します。



以上